

12月も中旬となりました。夕方5時にもなると、辺りはすっかり暗くなりますが、街はイルミネーションで華やかですね。にぎやかなBGMを聞きながら、今年のプレゼントを考えましょうか。

海外上映のために再編集された国際版『A』では、そのシーンがカットされていた。この映画の最も重要なシーンだったのに！ と、私は監督に直接訴えた。

水虫は治療したほうがいいし、キスはしておいたほうがいいと、信じる私だ。(p.12)

G—Go city, go city, city！ もう「愛」以外——どう名づけても同じさ Baby

『GO』。直木賞受賞の原作小説を先に読んでいた。映画は期待せずに観た。小説を映画化して成功した例って、あまりないような気がしてならなかったから。

だけど映画は「原作そのまま」印象に仕上がっていた。すごいことだ。「そのまま」つくったら、そうはなるまい。

原作を読んだときは、主人公の父親のかっこよさがいまひとつ実感できなかったのだが、山崎努演じる父親の姿を目のあたりにすると「なるほど、かっこいいや」と素直に思える。そのへんは肉体の躍動する映画ならではの強みというか。

だけど主人公が窪塚洋介っていうのはずるくない？ あれだけ頭がよくてケンカも強い高校生がいたら、そりゃモテるよ。柴咲コウも惚れるよ。勉強できないとか在日コリアンだとか、そんな次元を超越しちゃ男前じゃないかなあ。顔も成績も運動神経もよくない日本人高校生の立場は？ それって昔の私ですけど。

こわいもの知らずの主人公は恋をして初めて「こわいもの」を知る。佐野洋子「100万回生きたねこ」(講談社)と同じ話だったんだと、映画版で気づいた。(p.84)

Z—残念な愛でした その残念が—— 消えないうちは愛しています

『ザジ ZAZIE』(利重剛監督)はビデオテープを持っている。ビデオ屋で借りては観ることを繰り返したあげく、中古販売されていたやつを買ったのだ。

あまり人にはおすすめでできない映画であるような気もしている。この映画を好きな自分はちょっと駄目なんじゃないかとすら思う。監督には失礼だけど……。ストーリーはよくわからない。退屈なシーンも多い。だけど何度も観てしまう。

主人公のザジ(ニックネーム)がかつてやっていたバンドは、この界限では伝説的な存在になっている。でも彼はもうバンドをやる気はなく、「新しい方法」を探しているのだ。といってもビデオカメラを回して、独り言をつぶやく自分を録画したりするだけ。「性格の80%は癖だ。癖はなおせる」なんていう、不思議な説得力はあるけど、よく考えると何の根拠もないことばかり言っているのだ。

映画の最後のほうで、ザジがストーカー的ファンに向かって言うセリフ。テープを巻き戻して、何度も何度も聞いてしまう。「ねえ……、ゆっくり悪くなったものってゆっくりしかおらないんじゃないか?」。ゆっくりとでいいから、なおしたいと思う。私も。もういちど。(p.162)



## 月から見た地球

北原 白秋

月から観た地球は、  
紫の光であった、  
深いにおいの。

わたしは立っていた、  
地球こそは夜空に  
おさなかつた、  
生まれたばかりで。

大きく、のぼっていた、  
地球は。  
その肩に空気が燃えた。  
雲が別れた。

潮鳴を、わたしは、  
火を噴く山の地動を聴いた。  
人の呼吸を。

わたしは夢見ていたのか、  
紫のその光を、  
わが東に。

いや、すでに知っていたのだ。  
早くも神を求めていたのを、  
また創っていたのを。  
地球人が

(詩集『海豹と雲』・アルス社・1929年刊)

『もう 頬づえをついてもいいですか?』(梶野浩一著・実業之日本社・2004年刊)

梶野浩一の短歌集『てのりくじら』を手にしたのが数年前。斬新な表現に驚いた。今回は、見延典子の小説『もう 頬づえはつかない』をもじったタイトルで、AからZまで26本の映画を取り上げた「映画コラム短歌集」。

A—愛という字は乱暴にでかく書く なるべく詩には見えないように

『A』という映画を観た人は少ないだろう。オウム真理教の信者たちを主演にすえたドキュメンタリーなので、上映できる映画館がそもそも少なかったのだ。

いろんな意味で問題作なのだけれど、笑えるところがいいと私は思った。オウム真理教の、マスコミ向け窓口である荒木氏(映画の中では気弱な若者だ)は、自分の足の皮がむけているのをさして「カルマ」のせいだと話す。しかしカメラを持った森達也監督はためらうことなく、それはカルマとは関係ない単なる水虫ではないか、とつつこむのだ。そんな発言がいやみに響かない、たぐいまれな人柄がなかったら、カメラが教団の内部に入ることすら不可能だったにちがいない。

だから荒木氏は監督の持つカメラの前で、キスもしたことがないと告白する。